

【小学校・5年・社会・これからの食料生産】

育成を目指す資質・能力

C2（協働での意見整理）

食料生産の現状に着目して、これからの食料生産の進め方についての学習計画を立て、追究の見通しをもつことができる。

ICT活用のポイント【活用したソフトや機能】 ホワイトボードソフト プレゼンテーションソフト

- ・プレゼンソフト等を活用することで、お互いの考えが一目で分かり、話し合いを活性化することができる。
- ・学習したことをスライドにまとめることで、単元を通して学びをつなげることができる。

学習の流れ

事例の概要

① 我が国の食料生産についての学習問題や学習計画を立て、追究の見通しをもつ。

② 食料の輸入について、現状や課題を調べ、整理する。

③ 食料自給率が低い理由や輸入がストップしたときの影響等について調べ、まとめる。

④ 学習問題について考えたことを発表する。単元を通して積み上げてきた学習感想等を共有する。

- ① 学習問題を捉えた上で、学習問題の解決のために調べるべきことをホワイトボードソフトに記入する。各班で、端末上で意見を持ち寄り、意見を整理する。全体共有の後、単元の学習計画を立てる。
- ② 食料の輸入について、資料を用いて調べたことを班ごとに表にまとめる。全体共有をして確認する。
- ③ 食料自給率が低い理由や、輸入がストップしてしまったときの食事について調べ、まとめる。
- ④ 食料生産を発展させるための取り組みを調べ、学習問題について考えたことを発表する。単元を通して学習したことは学習シート（プレゼンソフト）に、感想は表計算ソフトに書き込み、共有する。

【小学校・5年・社会・これからの食料生産】

【事例におけるICT活用の場面①】

4班 学習したいこと	分かったこと
①なぜ 食料自給率は低いのか、そしてその理由は	①海外からの輸入に頼っているから。
②食料自給率を上げるのに 自分たちでできることはあるのか。	②国産のものをなるべく食べる。
③食料自給率に関わる取り組みをしている人たちはいるのか、また その取り組みは、なに か。	③地産地消や、野菜工場
④もしも、食料自給率がこのままだったらどう なるのか。	④輸入に頼りすぎ、食料自給率が下がっていく

ICT活用のポイント

【活用の場面①】

○記入したものをコピー＆ペーストできることから学習シート（プレゼンソフト）を使用した。各自に1枚シートを割り当て、学習問題の解決に向けて調べるべきことを記入できるようにした。

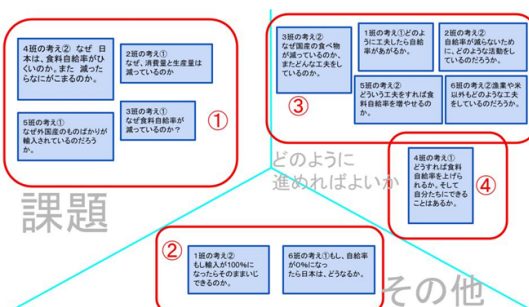
○各自が記入した内容を、班の共通のシートに集め、KJ法で考えを整理した。共同編集機能を活用し、友だちの考えを共有できるようにしたことで、様々な考えを参考にしながら話し合いを進めることができた。

【活用の場面②】

○グループの考えを場面②のシートに整理し、全体で共有した。学習の大まかな流れを話し合い、学習計画を決定した。学習計画をていねいに立てたことで、児童が学習問題解決の見通しをもって、毎時間の学習に臨むことができた。

○場面②を基に立てた学習計画に沿って学習を進める中で、分かったことや考えたことを場面①の各自のシートに追記できるようにした。追記していくことで、児童は学習の進捗や自分の考えの変容等を実感しながら学習を進めることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



小学校5年・社会 「これからの食料生産」

使用機器：タブレット、大型モニタ

使用アプリ：ホワイトボードソフト、プレゼンテーションソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① ホワイトボードソフトやプレゼンテーションソフトの共同編集により、児童が互いの考えを効率的に交流することができ、話し合いを活性化することができる。
- ② 学習したことをプレゼンテーションソフトにまとめることで、単元を通して学びをつなげることができる。

1 小単元の目標

- 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取組などについて、地図帳や地球儀、統計などで調べ、まとめたことを基に食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。
- 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取組などについて、主体的に学習問題を追究するとともに、これからの食料生産の発展について考えようとする態度を養う。

2 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取組などについて、地図帳や地球儀、統計などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ② 調べたことを文や表などにまとめ、我が国の食料生産は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	① 輸入など外国との関わり、生産量の変化、生産に関わる新しい取組などに着目して、問いを見だし、食料生産の概要や食料生産が国民生活に果たす役割について考え、表現している。 ② 学習したことをもとに、これからの食料生産の発展に向けてできることを消費者や生産者の立場から多角的に考え、適切に表現している。	① 我が国の食料の生産や輸入について予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことをもとに、これからの食料生産の発展について消費者や生産者の立場から多角的に考えようとしている。

3 小単元について

本小単元は、学習指導要領 内容（2）アイに基づいて設定した。前時までの農業や水産業に関する学習に基づき、食料生産が果たす役割について学習を深める小単元である。

日本における食料生産の問題として、食料自給率の低さが挙げられることが多い。日本の食料自給率（カロリーベース）は、昭和40年度の73%から令和元年度の38%へと長期的に低下して

きている。現在は食料を安定的に輸入できているが、それが将来的に保障されているわけではない。この他にも、日本の食糧生産については様々な課題があり、多角的な視点から解決策を探っていくことが求められている。〔参考：農林水産省『知ってる？日本の食料事情』<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/>〕

本小単元は、これまでの食料生産の学習のまとめとして位置付けている。児童はこれまでに主に生産者の立場から農業や水産業といった食料生産について学習してきているが、食料自給率の課題を考える場合、生産者だけでなく、食料を購入したり消費したりする消費者の立場が重要である。このことから、学習においては「生産者と消費者」、「国内と海外」、「長所と短所」といった様々な立場で物事を考え、より多角的な視野で学習を進めるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画（5時間）

過程	ねらい	○主な学習活動	◆評価規準 ■ICTの活用
見 通 す	〔第1時〕 ・食料生産の現状に着目して、これからの食料生産の進め方についての学習計画を立て、追究の見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習問題 日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいだろうか。 </div> ○主な食料の食料自給率を調べる。 ○食料生産量と自給率の関わりをグラフから読み取る。 ○日本の食料生産についての意見を出し合い、学習計画を立てる。	◆思-① 観察 プレゼンテーションソフト ◆態-① 観察 プレゼンテーションソフト ■プレゼンテーションソフト [KJ法]
	〔第2時〕 ・食料の輸入について、長所と短所、消費者と生産者の立場など多角的な視点で捉え、国内の食料生産が向き合う課題やその解決策について考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 食料の輸入には、どのような長所や短所があるのだろうか。 </div> ○食料の輸入について、消費者と生産者の立場から長所・短所を考える。	◆知-① 観察 プレゼンテーションソフト ■プレゼンテーションソフト [マトリックス]
調 べ る	〔第3時〕 ・「なぜ食料自給率は減っているのか。」 「もし輸入がなくなったら、食生活を維持できるのか。」 という第1時で挙げた疑問について調べて、考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> なぜ食料自給率は減っているのだろうか。 もし食料輸入が0%になったら食生活を維持できるのだろうか。 </div> ○第1時で抱いた疑問について調べ、考える。	◆知-① 観察、ノート
	〔第4時〕 ・食の安心・安全を確保するために様々な立場で取組を行っていることを捉える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 食を安定して確保し続けるためには、どのようなことが大切なのだろうか。 </div> ○食の安心・安全を確保するために行われている取組を調べる。	◆知-② 観察、ノート

	<p>・国内の食料生産の課題を解決するための取組に着目して、国内で食料を生産し、安定して確保するには様々な立場からの協力が大切だと捉える。</p>	<p>○国内の生産者が取り組んでいることを調べる。 ○その取組の“売り”を考える。</p>	
<p>まとめ ・振り返る</p>	<p>[第5時] ・これまでの学習を整理して、国内の食料生産の発展に向けてできることを、生産者の立場と消費者の立場を関連づけながら考え、これからの生産や食生活についての意見をもつ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>国内の食料生産を発展させていくためには、どうしていけばよいのだろうか。</p> </div> <p>○これまでの学習内容をもとに、学習問題について生産者・消費者それぞれの立場から自分の意見を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>まとめの例</p> <p>大規模な生産を進めれば、生産費用が下がり、価格も下がる。そうすることで消費量を上げることができるだろう。</p> </div>	<p>◆思-② 発表 プレゼンテーションソフト</p> <p>◆態-② 観察、 表計算ソフト</p> <p>■プレゼンテーションソフト [K P法]</p> <p>■表計算ソフト [学習感想]</p> <p>■プレゼンテーションソフト [学習のまとめ]</p>

5 ICTの効果的な活用について

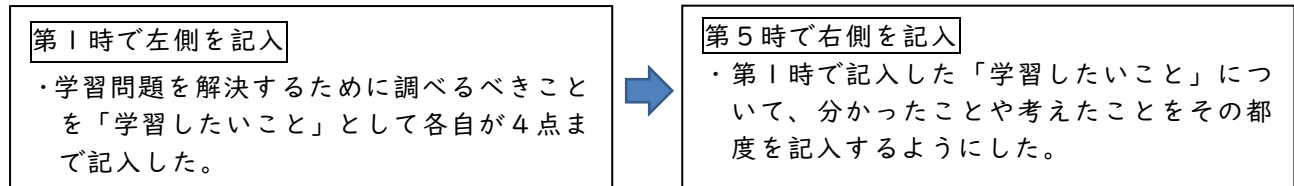
(1) 活用するツール

単元を通して学習支援ソフトを活用した。学習支援ソフトは、ブラウザ上で操作し、同時に共有したり編集したりすることができる。毎時の学習に関する資料などを保存していくことで、児童の学びを可視化したり、児童が学びのつながりを意識したりすることができる。

<主に活用するツールと期待される効果> []内は使用するアプリケーション

<p>K J法 [プレゼンテーションソフト]</p>	<p>学習問題について「調べる必要があること」を付箋に記入し、意見交換しながら学習計画を立てる。学習を通して分かったことなどをその都度追記していくことで、学びのつながりを可視化することができる。</p>
<p>マトリックス [プレゼンテーションソフト]</p>	<p>縦軸と横軸に項目を記入し、表にまとめていく。本単元では、食料生産に関する課題解決に向けた取組について、生産者や消費者、多角的な視点から「メリット」や「デメリット」を分析するために活用した。</p>
<p>学習感想 [表計算ソフト]</p>	<p>単元の学習後に、学習したことを表計算ソフトに記入し、一覧にして保存する。学習内容や学習の仕方を積み上げていくとともに、いつでも振り返ることができる。</p>
<p>K P法 [プレゼンテーションソフト]</p>	<p>紙芝居プレゼンテーション法。伝えたい内容について、要点を絞り、4枚のスライドに短い言葉でまとめる。具体的な内容を要約することで、大切なこと(社会的事象の意味や特色)を効果的に考えることができる。</p>

(2) プレゼンテーションソフトを用いた学習計画づくり・学習の振り返り



4班〇〇	学習したいこと	分かったこと
	①なぜ食料自給率は低いのか。そしてその理由は	①海外からの輸入に頼っているから。
	②食料自給率を上げるのに自分たちにできることはあるのか。	②国産のものをなるべく食べる。
	③食料自給率に関わる取り組みをしている人たちはいるのか。また、その取り組みはなにか。	③地産地消や、野菜工場
	④もしも、食料自給率がこのままだったらどうなるのか。	④輸入に頼りすぎ、食料自給率が下がっていく

第1時

個人で記入した考えを班ごとにKJ法で整理し、各班の考えは全体で共有した。思考ツール（Yチャート）を用いて考えをグループに分けた上で、学習の大まかな流れを話し合う活動を通して、学習計画を立てた。（①～④が学習する順番を示す）

